

**2021年度
第3四半期
決算概要**

**2022年
1月31日**



第3四半期決算ハイライト

第1-3四半期において顧客関連ビジネスが期初計画比好調に推移、2021年度通期業績予想を上方修正

	1-3Q実績	期初予想比進捗率	期初予想	修正予想	期初予想比
連結粗利益	793億円	81.8%	970億円	1,020億円	+50億円 (+5.2%)
連結実質業務純益	388億円	91.5%	425億円	470億円	+45億円 (+10.6%)
親会社株主純利益	285億円	95.3%	300億円	340億円	+40億円 (+13.3%)

第1-3四半期決算のポイント

- ◆ 資金利益は、海外貸出を中心に貸出残高が増加したことにより堅調に推移し、第1-3四半期では前年同期比増加
- ◆ 第3四半期も引き続き顧客関連ビジネスが好調に推移し、第1-3四半期の非資金利益が前年同期比大幅に増加。
あおぞら型投資銀行ビジネスの推進により、バイアウトファイナンスや組合出資等が順調に進捗
- ◆ 与信関連費用は、貸出残高増加に伴い一般貸倒引当金を繰入れ、期初計画の範囲内の水準

2021年度通期業績予想の上方修正に伴い、年間配当予想を上方修正

年間配当予想：145円/1株当たり（期初予想比17円増）

第3四半期配当：40円/1株当たり（第2四半期実績比8円増）

(注) 本資料においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社株主純利益」と記載しております。金額は、単位未満を切り捨てて表示しております
また、本資料において「第1四半期」の記載は4-6月期、「第2四半期」は7-9月期、「第3四半期」は10-12月期を示しております

損益の概要

◆ 第3四半期（10-12月期）も引き続き好調な実績。第1-3四半期（4-12月期）の連結粗利益は前年同期比101億円増加

- 第1-3四半期は、資金利益が前年同期比増加するとともに、非資金利益は顧客関連ビジネスを中心に大幅に増加し、粗利益を牽引
- 経費コントロールに努め、経費は期初計画通りの進捗
- 与信関連費用は12億円の費用。株式等関係損益は第3四半期に顧客ビジネス関連での売却益を計上

(単位：億円)	2020年度	2021年度			4-12月期 B	B - A		2021年度 修正業績 予想	進捗率
	4-12月期 A	4-6月期	7-9月期	10-12月期		増減額	増減率		
連結粗利益	691	267	256	268	793	+101	+14.6%	1,020	77.8%
資金利益	382	118	128	140	387	+4			
非資金利益	309	149	128	127	405	+96			
経費	-397	-138	-140	-141	-421	-23			
持分法投資損益	2	5	6	4	17	+14			
連結実質業務純益	297	134	122	131	388	+91	+30.9%	470	82.7%
与信関連費用	-17	20	-15	-17	-12	+4			
株式等関係損益	23	0	0	8	8	-15			
経常利益	288	156	108	123	387	+99	+34.4%	470	82.6%
特別損益	-0	-	-1	-0	-2	-2			
税金等調整前当期純利益	288	156	106	122	385	+96	+33.5%		
法人税等	-85	-44	-31	-36	-112	-27			
非支配株主純損益	16	3	4	5	13	-3			
親会社株主純利益	220	115	78	91	285	+65	+29.9%	340	84.1%

資金利益

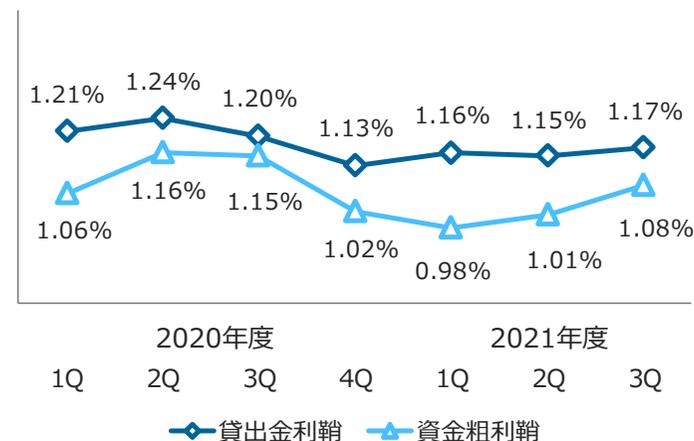
- ◆ 資金利益は、前年同期比4億円増加の387億円
 - 第3四半期は、貸出金利息および有価証券利息配当金の増加により、第2四半期比12億円増加
- ◆ 貸出金利鞘（貸出金利回り－資金調達利回り）は、前年同期比6bps縮小するも、足元では堅調に推移

(単位：億円)	2020年度	2021年度			増減額 B - A	
	4-12月期 A	4-6月期	7-9月期	10-12月期		4-12月期 B
資金利益	382	118	128	140	387	+4
資金運用収益	521	156	161	175	493	-27
貸出金利息	351	108	109	114	332	-18
有価証券利息配当金	163	45	49	58	153	-10
その他受入利息	6	2	2	2	8	+1
資金調達費用	-138	-37	-33	-34	-105	+32
預金・譲渡性預金利息	-43	-14	-14	-15	-44	-1
債券・社債利息	-16	-6	-5	-4	-15	+1
借入金利息	-14	-3	-2	-2	-8	+6
その他支払利息	-15	-2	-1	-1	-5	+10
スワップ支払利息	-48	-10	-9	-10	-31	+16

(注) 費用の減少はプラス表示

	2020年度	2021年度			増減 B - A	
	4-12月期 A	4-6月期	7-9月期	10-12月期		4-12月期 B
資金運用利回り (A)	1.50 %	1.26 %	1.26 %	1.33 %	1.28 %	-0.22 %
貸出金利回り (B)	1.60 %	1.44 %	1.40 %	1.42 %	1.42 %	-0.18 %
有価証券利回り	1.93 %	1.32 %	1.52 %	1.72 %	1.52 %	-0.41 %
資金調達利回り (C)	0.38 %	0.28 %	0.25 %	0.25 %	0.26 %	-0.12 %
資金粗利鞘 (A)-(C)	1.12 %	0.98 %	1.01 %	1.08 %	1.02 %	-0.10 %
貸出金利鞘 (B)-(C)	1.22 %	1.16 %	1.15 %	1.17 %	1.16 %	-0.06 %

資金粗利鞘・貸出金利鞘推移



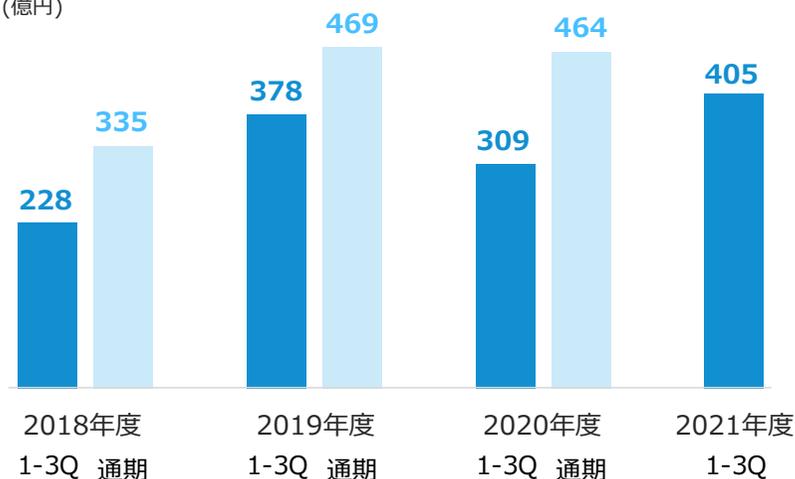
非資金利益

- ◆ 非資金利益は顧客関連ビジネスが好調に推移し、前年同期比96億円増加し405億円
 - あおぞら型投資銀行ビジネスやリテール関連の投資性商品販売が好調に推移し、役務取引等利益、特定取引利益、組合出資損益のいずれも順調な実績
 - 国債等債券損益は58億円（前年同期は127億円）。粗利益に占める割合は7.4%に低下

(単位：億円)	2020年度	2021年度				増減額 B - A
	4-12月期 A	4-6月期	7-9月期	10-12月期	4-12月期 B	
非資金利益	309	149	128	127	405	+96
役務取引等利益	87	24	43	33	101	+14
特定取引利益	66	64	15	41	121	+54
国債等債券損益	127	15	39	3	58	-68
その他業務利益 (除く国債等債券損益)	27	45	29	48	123	+95
うち、組合出資損益	38	35	17	20	73	+34
(参考) 国債等債券損益の 粗利益に占める割合	18.4%	5.7%	15.4%	1.5%	7.4%	

非資金利益推移

(億円)



非資金利益 — 役務取引等利益・特定取引利益 —

◆ 役務取引等利益は101億円（前年同期比14億円増）、特定取引利益は121億円（前年同期比54億円増）

- 貸出関連手数料は第3四半期も引き続き堅調に推移し、第1-3四半期では前年同期と同水準
- リテール関連の投資性商品販売利益が好調に推移
- GMOあおぞらネット銀行（GANB）の手数料収益は、第1-3四半期で26億円と前年同期比15億円増加

(単位：億円)	2020年度	2021年度				増減額 B - A
	4-12月期 A	4-6月期	7-9月期	10-12月期	4-12月期 B	
役務取引等利益	87	24	43	33	101	+14
役務取引等収益	104	32	52	43	128	+24
貸出業務・預金業務	56	10	27	18	56	-0
証券業務・代理業務	22	7	9	11	28	+6
その他の受入手数料	25	14	16	13	44	+18
うち、GANB手数料	10	9	8	7	26	+15
役務取引等費用	-17	-8	-9	-9	-27	-10
特定取引利益	66	64	15	41	121	+54

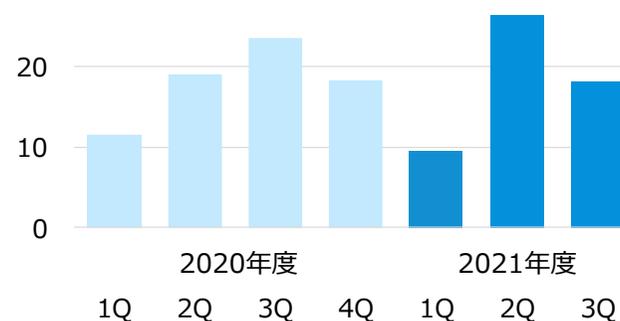
リテール関連の投資性商品販売利益

	2020年度	2021年度	増減額
投信・保険・仕組債等の販売に係る利益	29	69	+39
投資信託	5	11	+5
保険	1	1	-0
仕組債	22	56	+34

(注) 投信・保険の販売に係る利益は、役務取引等利益に計上
仕組債の販売に係る利益は、特定取引利益として計上

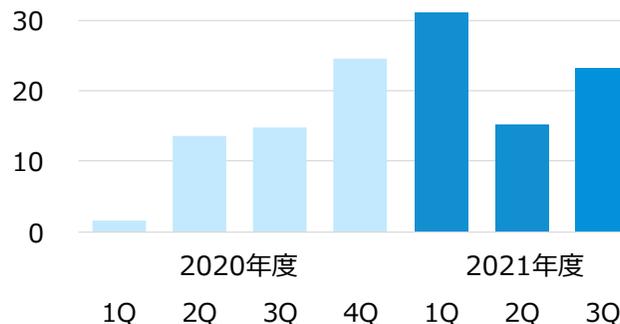
貸出関連手数料

(億円)



投信・保険・仕組債販売利益

(億円)



非資金利益 — その他業務利益 —

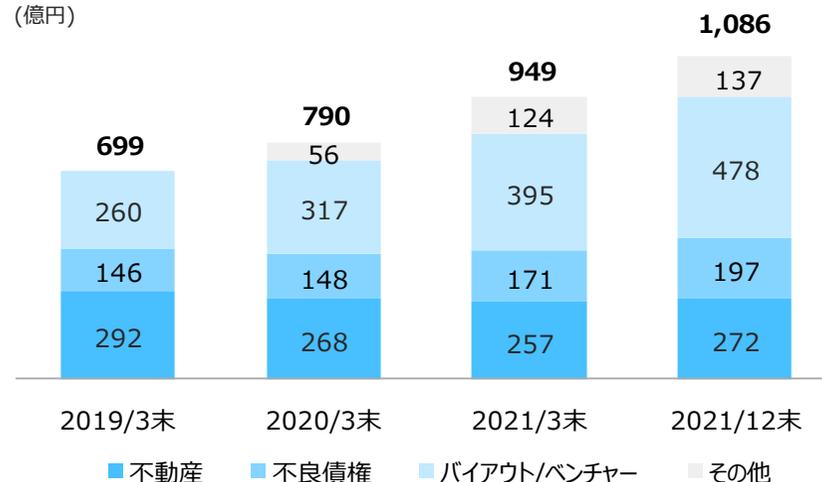
- ◆ 国債等債券損益は58億円の利益（前年同期は127億円の利益）
 - 米国金利動向を踏まえ、第3四半期は米国債のポジション調整により売却損を計上
- ◆ 国債等債券損益を除くその他業務利益は123億円（前年同期比95億円増）
 - 組合出資損益は73億円（前年同期比34億円増）、不動産関連・不良債権関連・バイアウト関連のいずれも順調に推移

(単位：億円)	2020年度	2021年度				増減額 B - A
	4-12月期 A	4-6月期	7-9月期	10-12月期	4-12月期 B	
国債等債券損益	127	15	39	3	58	-68
日本国債	-	0	0	-	1	+1
外国国債・モーゲージ債	103	-10	8	-9	-11	-115
その他	23	24	30	13	68	+44
うち、私募投信	24	13	20	9	42	+17
うち、REIT	10	4	8	3	16	+6
うち、外貨ETF	-11	-	-	0	0	+12

国債等債券損益を除く その他業務利益	27	45	29	48	123	+95
うち、組合出資損益	38	35	17	20	73	+34
不動産関連	8	1	2	9	13	+5
不良債権関連	15	20	6	4	31	+16
バイアウト/ベンチャー関連	11	11	6	4	22	+10
その他	3	2	1	1	6	+2

組合出資残高*

(億円)



* 管理会計ベース

持分法投資損益、株式等関係損益

◆ 持分法投資損益は17億円の利益

- ▶ ベトナムOrient Commercial Joint Stock Bank (OCB) の当期利益は、7-9月期（当行第3四半期持分法投資損益に反映）はロックダウンの影響によりやや減少したものの、1-9月期では前年同期比大きく増加

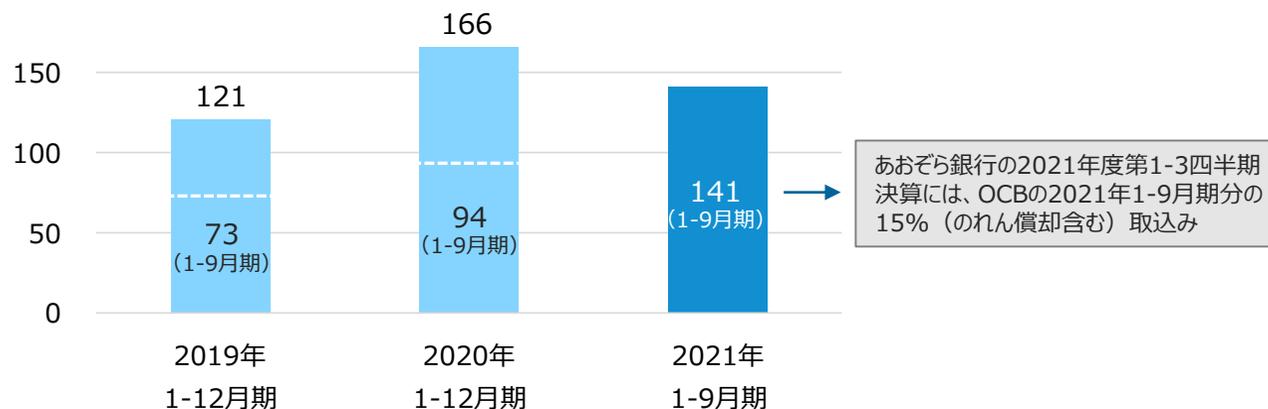
◆ 株式等関係損益は8億円

- ▶ 第3四半期に、あおぞら型投資銀行ビジネスにおける顧客ビジネス関連の売却益を計上

(単位：億円)	2020年度	2021年度				増減額 B - A
	4-12月期 A	4-6月期	7-9月期	10-12月期	4-12月期 B	
持分法投資損益	2	5	6	4	17	+14
株式等関係損益	23	0	0	8	8	-15

OCB当期利益*

(億円)



* 当社HPより抜粋。為替レートは1ベトナムドン=0.0047円を使用

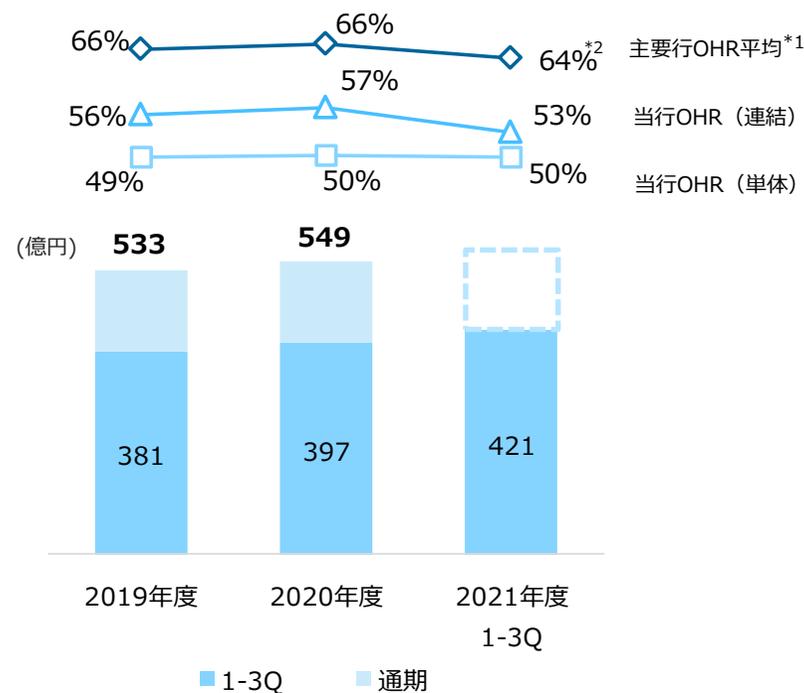
経費

- ◆ 経費は前年同期比23億円増加し421億円。期初計画に対し75%の進捗
 - ▶ 注力分野へのリソース投入により、人件費およびシステム関連経費が増加
- ◆ 連結粗利益が好調だったことにより、OHRは連結ベースで53%と前年同期比低下

経費内訳

(単位：億円)	2020年度	2021年度			増減額 B - A	
	4-12月期 A	4-6月期	7-9月期	10-12月期		4-12月期 B
経費 (A)	397	138	140	141	421	+23
人件費	187	63	67	66	197	+10
物件費	186	64	65	66	196	+9
うち、IT関連費	72	25	27	28	81	+9
税金	23	11	7	7	26	+3
連結粗利益 (B)	691	267	256	268	793	
OHR (A) / (B)	57.5%	-	-	-	53.1%	
OHR (単体ベース)	48.5%	-	-	-	49.5%	

経費・OHR推移



*1 主要行：MUFG、SMFG、みずほFG、りそなHD、三井住友トラストHD、新生銀行

*2 2021年度中間期

与信関連費用

- ◆ 与信関連費用は12億円の費用（前年同期は17億円の費用）。期初計画の範囲内の水準
 - ▶ 第1四半期は格上げや海外貸出の回収を主因に一般貸倒引当金の戻入が発生、第2、第3四半期は貸出残高の増加に伴い一般貸倒引当金を繰入れ
- ◆ 貸出金残高に対する貸倒引当金の比率は1.48%と十分な水準を維持
 - ▶ 海外貸出に対する貸倒引当金の比率は約2.2%

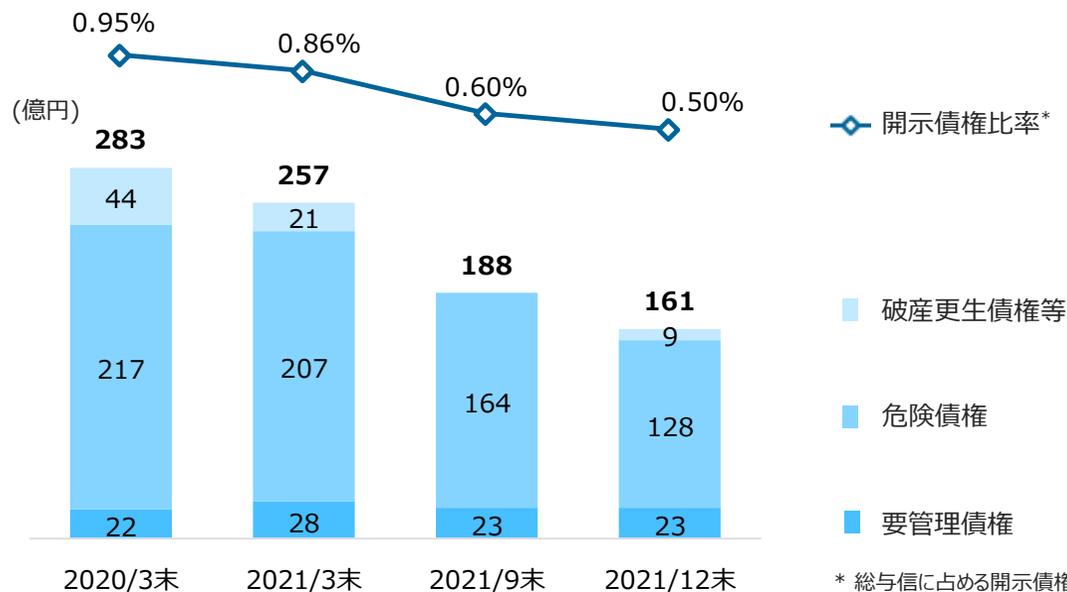
(単位：億円)	2020年度	2021年度				増減額 B - A
	4-12月期 A	4-6月期	7-9月期	10-12月期	4-12月期 B	
与信関連費用	-17	20	-15	-17	-12	+4
貸出金償却	-1	-4	-2	-5	-12	-10
貸倒引当金	12	23	-13	-11	-1	-13
個別貸倒引当金	-5	-14	2	6	-4	+1
一般貸倒引当金	18	38	-16	-18	2	-15
債権売却損益等	-31	-	-0	-	-0	+31
償却債権取立益	2	1	0	0	1	-0
オフバランス取引 信用リスク引当金	1	-0	0	-0	-0	-1

貸出金残高に対する貸倒引当金比率

(単位：億円)	2021年 3月末	2021年 9月末	2021年 12月末
貸倒引当金残高(A)	508	485	477
一般貸倒引当金残高(B)	401	379	398
貸出金残高(C)	29,488	31,447	32,253
(A) / (C)	1.72%	1.54%	1.48%
(B) / (C)	1.36%	1.20%	1.23%

金融再生法開示債権（単体）

- ◆ 金融再生法開示債権比率は0.50%（2021年3月末比0.36ポイント低下）
 - 開示債権は、問題債権の処理等により2021年3月末比95億円減少（9月末比26億円減少）



(単位：億円)	2020/3末	2021/3末	2021/9末	2021/12末
総与信額	29,798	29,642	31,330	32,135
開示債権 (A)	283	257	188	161
保全額 (B)	275	228	179	152
貸倒引当金	152	122	120	94
担保保証等	123	106	58	58
保全率 (B) / (A)	97.1%	88.8%	95.2%	94.4%

* 総与信に占める開示債権の割合

バランスシートの概要

◆ 総資産は6兆3,775億円（2021年3月末比4,606億円増）。純資産は5,219億円（2021年3月末比319億円増）

(単位：億円)	2021年 3月末 A	2021年 9月末	2021年 12月末 B	増減額 B - A
貸出金	29,488	31,447	32,253	+2,765
有価証券	13,933	13,471	13,420	-512
現金預け金	9,501	9,422	10,966	+1,465
特定取引資産	1,546	1,138	1,075	-470
その他	4,699	5,269	6,058	+1,358
資産の部	59,168	60,749	63,775	+4,606

(単位：億円)	2021年 3月末 A	2021年 9月末	2021年 12月末 B	増減額 B - A
預金・譲渡性預金	40,125	43,588	45,808	+5,683
社債	1,983	1,782	1,704	-278
借入金	3,497	3,402	4,131	+634
債券貸借取引受入担保金	4,316	3,256	3,438	-878
特定取引負債	1,404	1,020	966	-438
その他	2,940	2,535	2,506	-434
負債の部	54,268	55,584	58,555	+4,287
純資産の部	4,900	5,164	5,219	+319
負債及び純資産の部合計	59,168	60,749	63,775	+4,606

貸出 ー 全体・国内業種別 ー

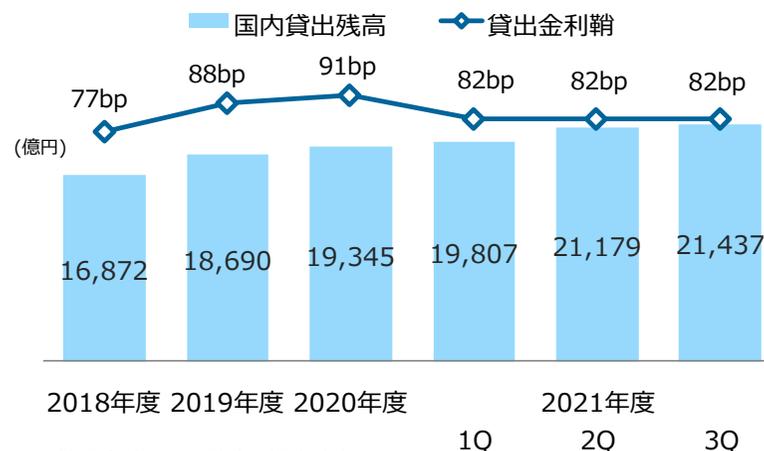
◆ 貸出金残高は2021年3月末比2,765億円増加し3兆2,253億円（うち国内向け貸出は2,092億円増加）

(単位：億円)	2021年 3月末 A	2021年 9月末	2021年 12月末 B	増減額 B - A
貸出金残高 (A)	29,488	31,447	32,253	+2,765
国内向け貸出	19,345	21,179	21,437	+2,092
海外向け貸出*(B)	10,142	10,268	10,815	+673
(B) / (A)	34.4%	32.7%	33.5%	-

* 海外向け貸出は最終リスク国が日本以外のもの

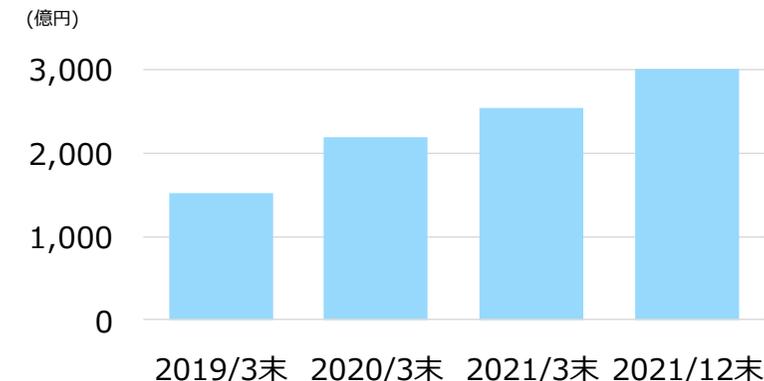
					シェア
国内 (除く特別国際金融取引勘定分)	23,293	24,875	25,300	+2,006	78%
製造業	2,122	2,164	2,339	+216	7%
情報通信業	1,131	871	987	-143	3%
運輸業・郵便業	357	355	375	+17	1%
卸売業・小売業	718	763	826	+107	3%
金融業・保険業	3,635	3,701	3,606	-29	11%
不動産業	6,260	6,771	6,813	+553	21%
うち、ノンリコースローン	3,428	3,576	3,583	+154	11%
物品賃貸業	757	922	949	+192	3%
その他サービス業	1,860	1,800	1,527	-332	5%
その他	6,448	7,524	7,873	+1,424	24%
うち、海外（本店ブック）	4,214	3,971	4,091	-122	13%
海外及び特別国際金融 取引勘定分	6,194	6,572	6,953	+758	22%
合計	29,488	31,447	32,253	+2,765	100%

国内貸出残高・貸出金利鞘*



*管理会計ベース、残高は期末時点

LBOローン・プロジェクトファイナンス残高*推移



*国内事業法人業務に係るもの（行内管理ベース）

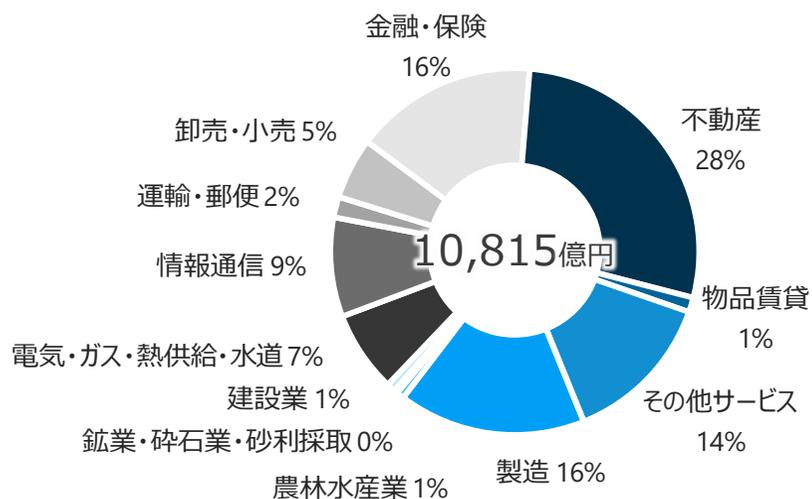
貸出 — 海外向け —

- ◆ 海外向け貸出は1兆815億円、2021年3月末比673億円増加（米ドルベースで248百万ドル増加）
 - 安定的に利鞘を確保しつつ、新規案件を積み上げ、9月末比でも547億円増加（米ドルベースで236百万ドル増加）

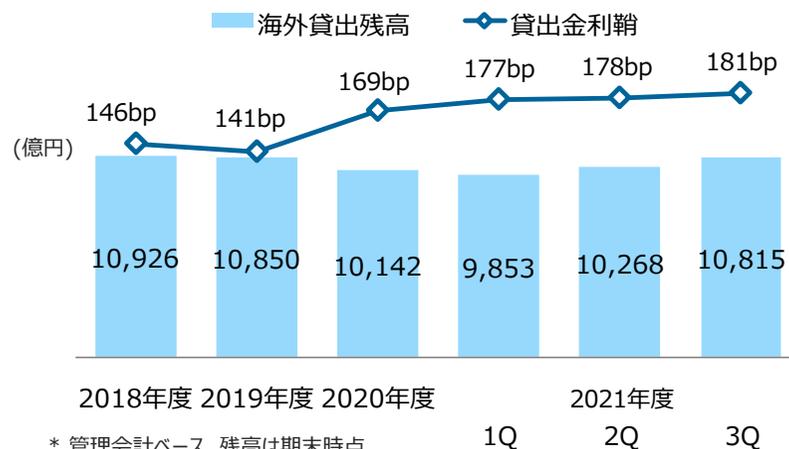
(単位：億円)	2021年 3月末 A	2021年 9月末	2021年 12月末 B	増減額 B - A
貸出金残高 (A)	29,488	31,447	32,253	+2,765
海外向け貸出* (B)	10,142	10,268	10,815	+673
(B) / (A)	34.4%	32.7%	33.5%	-
米ドルベース (単位：百万\$)	9,160	9,172	9,408	+248
為替レート (US\$/¥)	¥110.72	¥111.95	¥114.96	¥4.24

* 最終リスク国が日本以外のもの

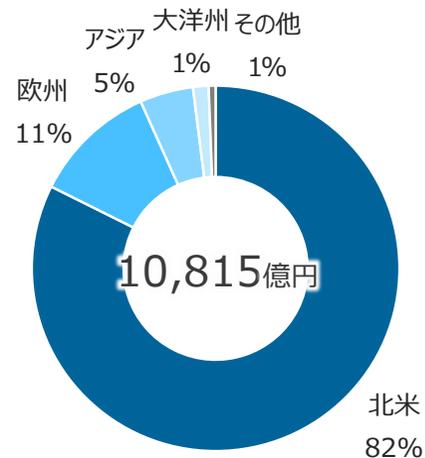
業種別



海外貸出残高・貸出金利鞘*



地域別

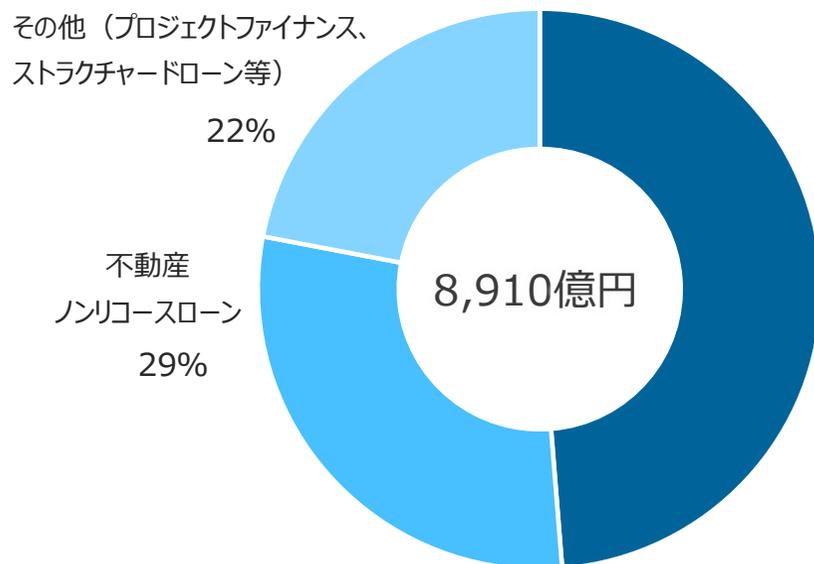


貸出 - 北米向けコーポレートローン -

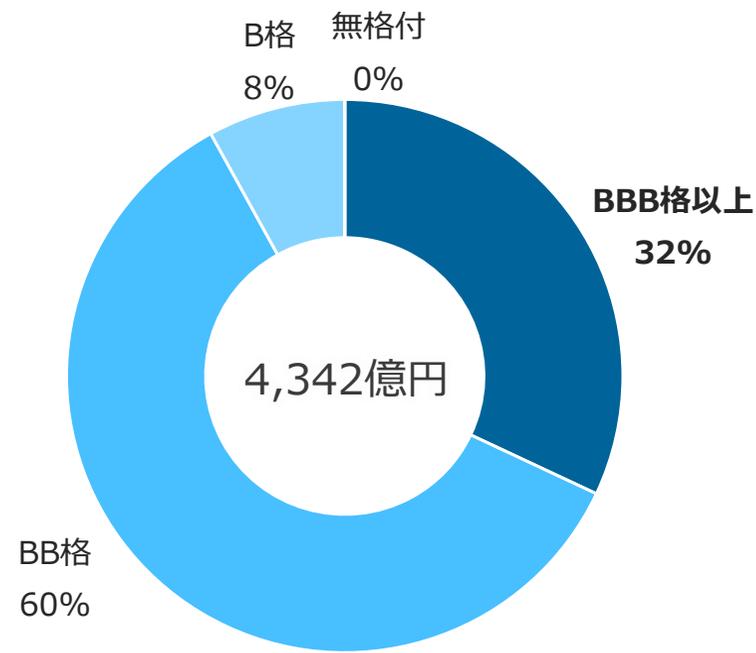
◆ 北米向けコーポレートローンの残高は4,342億円、2021年3月末比323億円増加（米ドルベースで147百万ドル増加）

➢ 第1四半期はプリペイメント等により残高が減少したものの、第2四半期以降は新規案件の積み上げが進捗

北米ローン内訳



北米コーポレートローン格付分布*



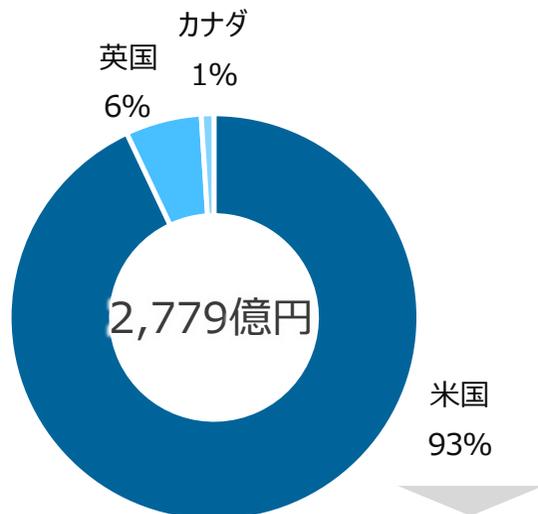
* 格付：S&P/ファシリティベース

貸出 — 海外不動産ノンリコースローン —

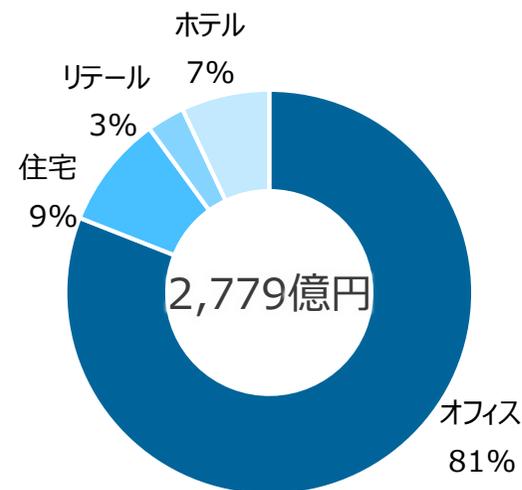
◆ 海外不動産ノンリコースローンの残高は2,779億円、2021年3月末比87億円増加（米ドルベースで13百万ドル減少）

➢ 第3四半期は、良質な案件を選択的に積み上げ、9月末比では228億円増加（米ドルベースで139百万ドル増加）

地域別



用途別



都市	構成比
ニューヨーク	29%
ワシントン D.C.	11%
ロサンゼルス	10%
シカゴ	8%
アトランタ	6%
サンフランシスコ	5%
マイアミ	4%
ミネアポリス	3%
フィラデルフィア	3%
アーリントン	3%
その他12都市	18%

当行の海外不動産ノンリコースローン取り上げ基準

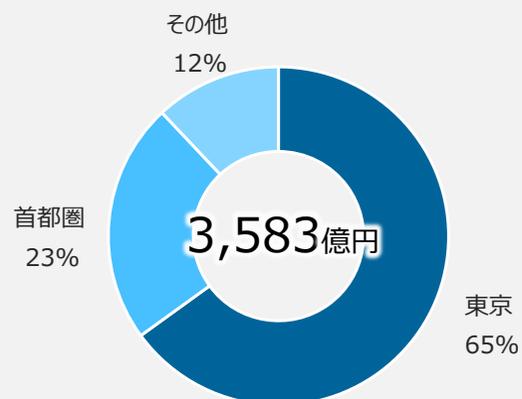
- ◆ 対象は担保付きのシニアローン。メザニンローンやコンストラクションローンは取り組み対象外
- ◆ 管理能力に優れたスポンサー、実績を有する有力銀行によるアレンジ案件
- ◆ 米国現地の鑑定事務所による評価書（第三者鑑定評価）に基づくLTVは65%以下

貸出 – 国内不動産ノンリコースローン –

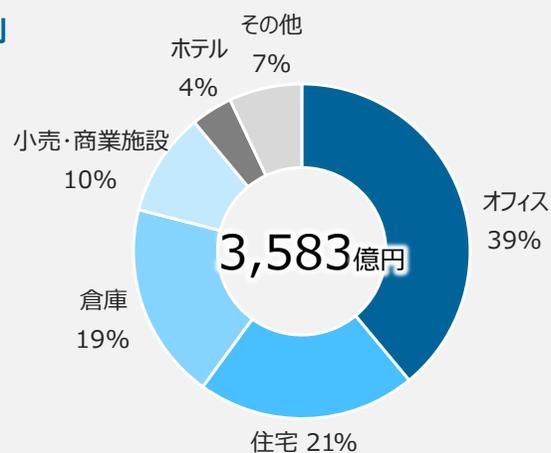
◆ 国内不動産ノンリコースローンの残高は3,583億円（2021年3月末比154億円増）

▶ オフィス案件の割合は2021年3月末比4%減、ホテル案件は2%減。倉庫案件は3%増

地域別

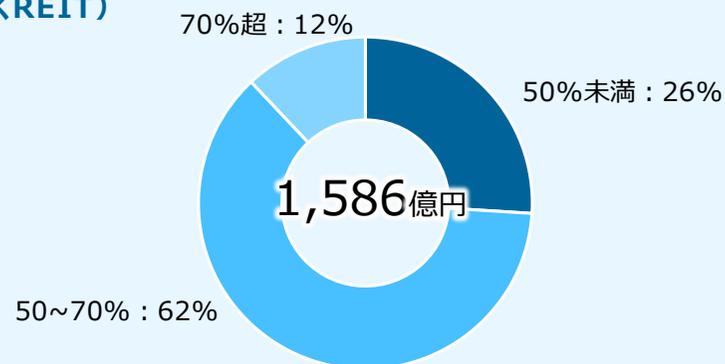


用途別



LTVの状況

不動産NRL (除くREIT)



REIT



有価証券

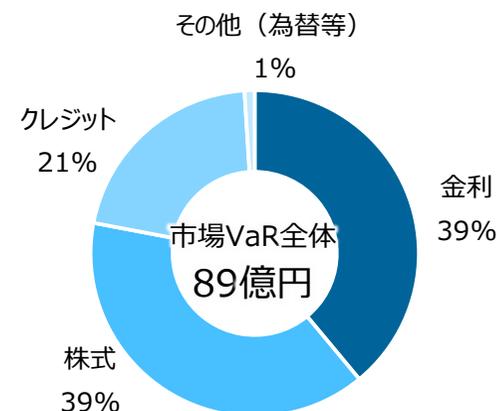
◆ 有価証券残高は1兆3,420億円（2021年3月末比512億円減少）

▶ 米国金利動向を踏まえ、上半期に続き、第3四半期も米国債のポジション調整を実施し、外国国債の残高は減少

◆ ヘッジ手段の評価損益を含めたネット評価損益は581億円（2021年3月末比152億円増）

	貸借対照表計上額				評価損益			
	2021年 3月末 A	2021年 9月末	2021年 12月末 B	増減額 B - A	2021年 3月末 C	2021年 9月末	2021年 12月末 D	増減額 D - C
(単位：億円)								
国債	377	375	374	-3	2	3	3	+0
地方債	1,451	1,631	1,655	+203	-3	0	0	+4
社債・短期社債	1,178	1,362	1,590	+412	9	9	10	+0
株式	274	334	356	+82	204	264	273	+68
外国債券	6,005	4,815	4,471	-1,533	-45	1	-20	+25
外国国債	2,832	2,112	1,724	-1,107	-33	-0	-6	+26
モーゲージ債	2,138	1,747	1,797	-341	-47	-31	-41	+5
その他	1,034	954	949	-85	35	34	28	-6
その他有価証券	4,646	4,952	4,972	+325	266	325	333	+67
ETF	1,645	1,683	1,639	-5	-9	9	6	+15
組合出資	949	1,068	1,086	+136	26	29	25	-0
REIT	727	785	799	+71	83	91	89	+5
投資信託	1,031	1,061	1,085	+53	112	125	141	+29
その他	292	354	361	+69	53	69	71	+17
合計	13,933	13,471	13,420	-512	434	605	600	+166
ヘッジ手段の評価損益を含めた有価証券評価損益					428	586	581	+152

市場リスク (VaR) の状況



米金利リスク (10BPV)

2021/3末	2021/9末	2021/12末
▲35億円	▲26億円	▲25億円

調達

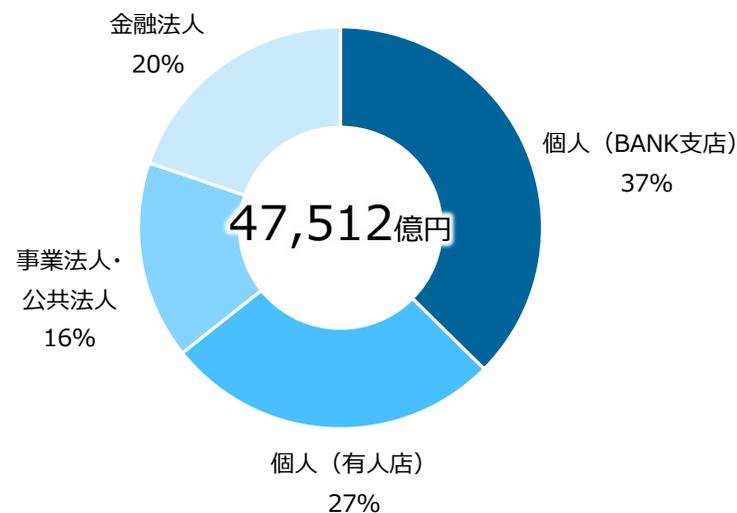
◆ コア調達は4兆7,512億円（2021年3月末比5,404億円増）

➢ BANK支店における個人のお取引先数は、12月末時点で約34万先と順調に拡大

(単位：億円)	2021年 3月末 A	2021年 9月末	2021年 12月末 B	増減額 B - A
コア調達計	42,108	45,370	47,512	+5,404
預金・譲渡性預金	40,125	43,588	45,808	+5,683
社債	1,983	1,782	1,704	-278
個人調達比率*	61%	64%	64%	
預貸率	73%	72%	70%	

* 当行内指標。個人調達比率 = 個人預金 / コア調達

顧客層別



主要業績指標

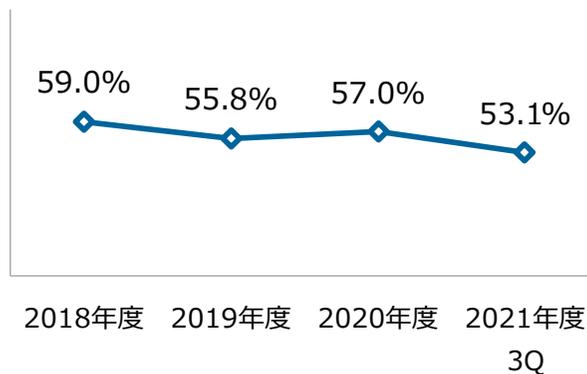
	2020年度 実績	2021年度 第3四半期実績	中期目標 (2020~2022年度)	(参考) 2021年度中間期 主要行平均 ^{*3}
経費率 (OHR)	57.0%	53.1%	50%台前半	64.1%
業務純益 ^{*1} ROA	0.8%	0.8% ^{*2}	1%程度	0.5%
ROE	6.3%	7.5% ^{*2}	8%以上	7.2%

*1 持分法投資損益を含む連結実質業務純益

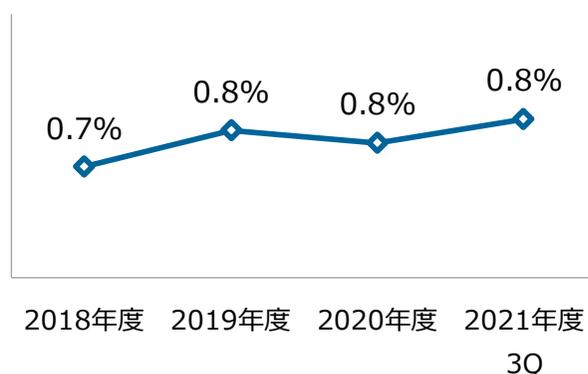
*2 年換算ベース

*3 主要行：MUFG、SMFG、みずほFG、りそなHD、三井住友トラストHD、新生銀行

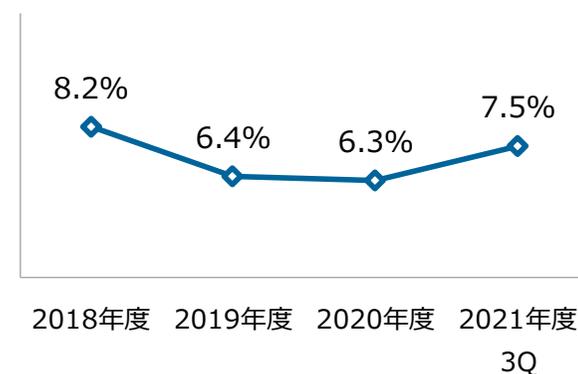
経費率(OHR)



業務純益ROA



ROE



あおぞらサステナビリティ目標の進捗状況

あおぞら型投資銀行ビジネスの推進 イノベーション促進

“ファイナンシャル・インクルージョン”の実現

◆ベンチャー企業の成長サポート

	2021年～2030年度	1-3Q実績
ベンチャー向け投資件数	累計 100件	5件
GMOあおぞらネット銀行 スモール&スタートアップ事業者 口座開設件数	累計 20万件	進捗は概ね 計画通り

◆事業再生を通じた地域社会への貢献

	2021年～2025年度	1-3Q実績
再生ファンドを活用した 再生支援件数	累計 100件	11件

“インダストリアル・トランジション”の促進

◆構造転換をともに目指すエンゲージメントエクイティ

	2021年～2025年度	1-3Q実績
エンゲージメントエクイティ投資件数	累計 100件	21件

気候変動への対応 環境保護

◆サステナブルファイナンス実行/組成額

	2021年～2030年度	1-3Q実績
累計	1兆円	900億円
うち環境ファイナンス	7,000億円	829億円

◆事業者としてのCO2排出量

2030年度までに	2050年度までに
↓ 50%削減 (2020年度比)	実質 0 (ゼロ) ※可能な限り前倒しでの 達成を検討

◆石炭火力発電所向けプロジェクトファイナンス残高

2040年度までに
残高 0 (ゼロ)

次世代へ“守り・繋ぐ” 人生の充実

◆事業承継・財産承継コンサルティング

	2021年～2025年度	1-3Q実績
コンサルティング契約件数	累計 1,800件	279件

あおぞら型投資銀行ビジネス –エクイティ投資–

- ◆ バイアウト関連のプライベートエクイティ投資、国内株式投資を中心に残高を積み上げ、2021年3月末比226億円増加
- ◆ 実現損益では、不動産関連・不良債権関連・バイアウト関連の組合出資損益や、顧客ビジネス関連の株式売却益により95億円を計上

(単位：億円)	エクイティ資産残高*1			実現損益*2	
	2021年 3月末 A	2021年 12月末 B	増減額 B - A	2020年度	2021年 4-12月期
事業再生債権投資	517	531	+14	15	30
不動産関連エクイティ	692	731	+38	61	24
バイアウト・ベンチャー他 (PEファンド等)	395	478	+83	18	20
国内・海外株式	160	238	+77	13	13
その他	124	136	+12	4	5
合計	1,889	2,116	+226	114	95

*1 管理会計ベース、顧客ビジネス関連のエクイティ資産残高（時価評価後）

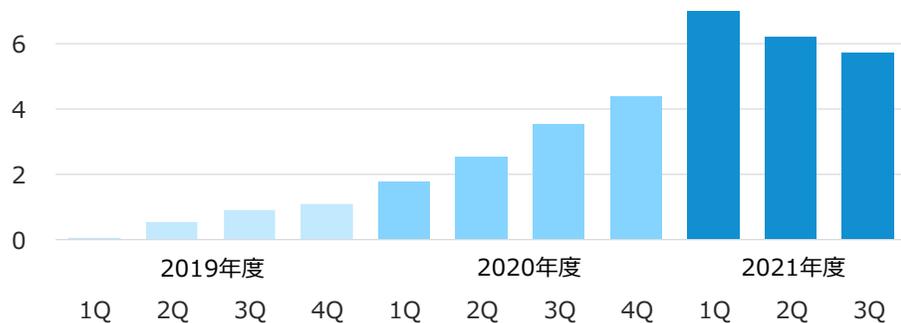
*2 管理会計ベース、株式売買損益、組合出資損益、有価証券利息配当金を含む

GMOあおぞらネット銀行 (GANB)

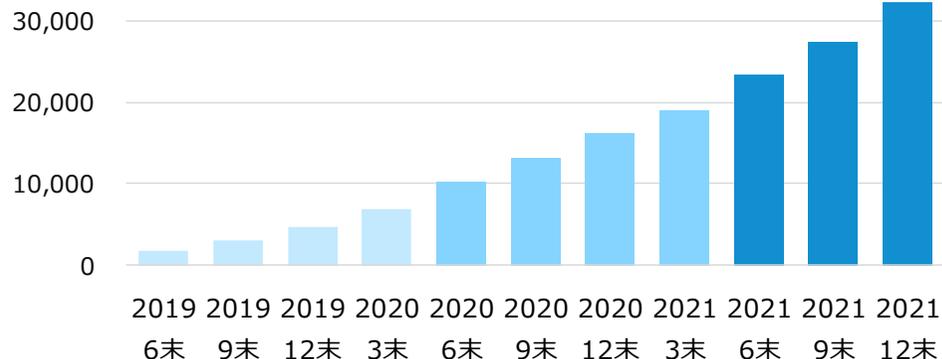
- ◆ 第3四半期は、為替手数料引き下げの影響もあり、粗利益が第2四半期比若干減少
- ◆ 第2四半期から第3四半期の為替件数の伸び率は加速。「法人紹介プログラム」の新設等営業を強化し、更なる法人口座数および為替件数の増加により粗利益の成長を図り、2022年度単年度黒字化を目指す

四半期毎粗利益推移

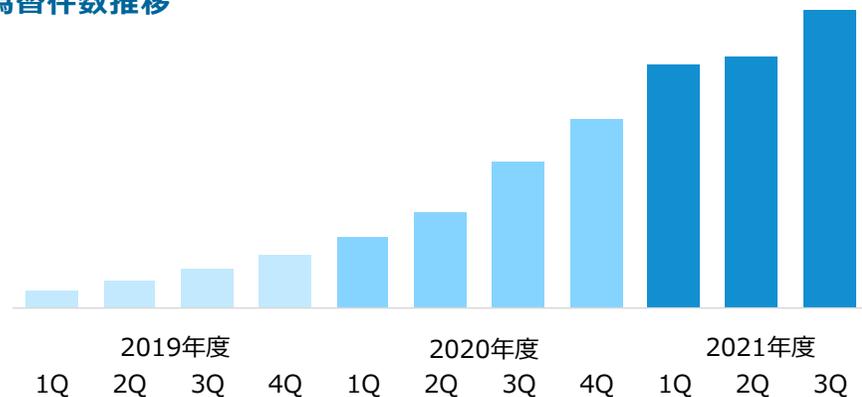
(億円)



法人口座数推移



為替件数推移



API接続契約社数



配当の状況

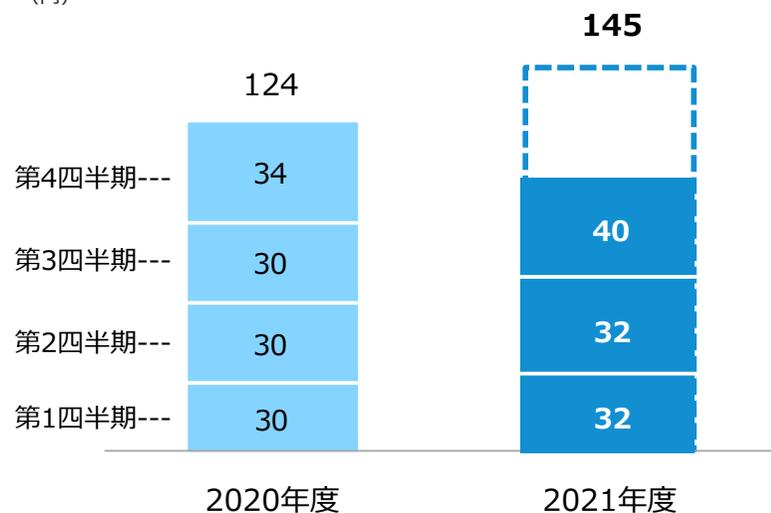
- ◆ 2021年度業績予想の上方修正に伴い、配当性向50%を踏まえ、年間配当予想を1株当たり145円に上方修正（期初予想比17円増、2020年度実績比21円増）
- ◆ 第3四半期配当は、1株当たり40円（第2四半期実績比8円増）

1株当たり配当金

基準日	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
配当予想 (2021年度)	—	—	—	41円	145円
当期実績 (2021年度)	32円	32円	40円		

配当金額

(円)



(注) 2021年度の配当予想については、連結親会社株主純利益の業績予想の50%を配当総額とし、2021年3月末の発行済株式数（自己株式を除く）で除した額を基礎として1株当たり年間配当145円と予想額を算出しております。

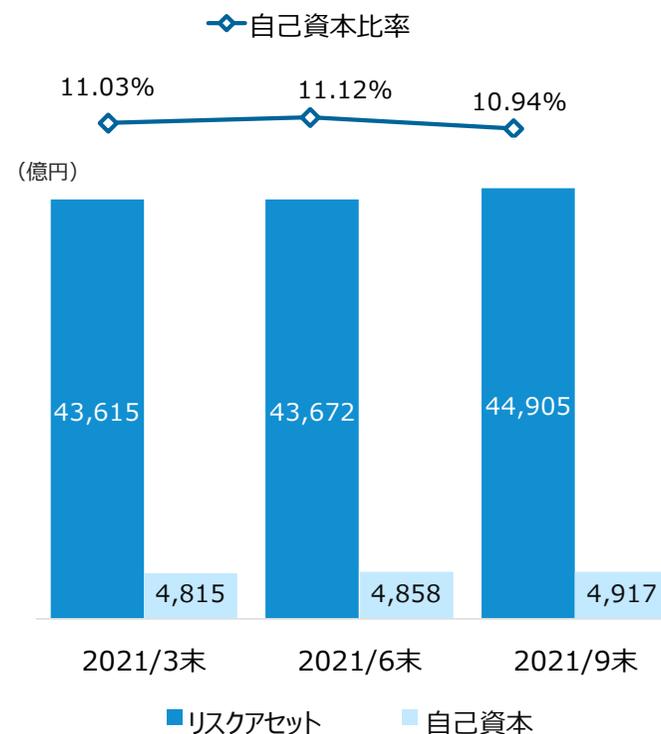
参考：自己資本比率（2021年9月末）

◆ 自己資本比率（国内基準）は引き続き十分な水準を維持する見込み（2022年2月中旬公表予定）

▶ 2021年9月末時点の自己資本比率は10.94%。CET1比率（普通株式等Tier1比率）は概算10.8%

国内基準

(単位：億円)	2021年	2021年	2021年	増減額 B - A
	3月末 A	6月末	9月末 B	
自己資本比率	11.03%	11.12%	10.94%	-0.09 %
自己資本 (A - B)	4,815	4,858	4,917	+101
基礎項目 (A)	5,053	5,099	5,160	+107
株主資本	4,638	4,710	4,753	+115
その他	414	389	406	-8
調整項目 (B)	238	241	243	+5
リスクアセット	43,615	43,672	44,905	+1,289
信用リスク・アセット	38,535	38,872	39,590	+1,054
マーケットリスク・アセット	3,557	3,278	3,756	+199
オペレーショナルリスク・アセット	1,522	1,522	1,558	+35



参考：損益の概要（単体）

	2020年度 4-12月期 A	2021年度			4-12月期 B	B - A		2021年度 修正業績 予想	進捗率
		4-6月期	7-9月期	10-12月期		増減額	増減率		
(単位：億円)									
業務粗利益	661	227	222	227	677	+16	+2.4%	900	75.2%
業務純益（一般貸引繰入前）	340	115	110	114	341	+1	+0.4%	445	76.8%
経常利益	329	137	98	105	342	+12	+3.9%	445	77.0%
当期純利益	240	101	68	74	244	+3	+1.4%	310	78.8%

参考：連単差の内訳

(単位：億円)

A 単体当期純利益	244
B 親会社株主純利益	285
B-A (a+b) 連単差	41

連単差の内訳

a 連結子会社・関係会社	21
--------------	----

	業務内容	所有割合 ^{*1}	当期純利益
GMOあおぞらネット銀行 (GANB)	インターネット銀行	50.0% ^{*2}	-27
あおぞら債権回収	債権管理回収	67.6%	1
あおぞら証券	金融商品取引	100.0%	18
あおぞら地域総研	経営相談	100.0%	0
あおぞら投信	投資運用	100.0%	1
あおぞら不動産投資顧問	投資助言	100.0%	0
ABNアドバイザーズ	M&Aアドバイザー	100.0%	0
あおぞら企業投資	ベンチャーキャピタル	100.0%	0
Aozora Asia Pacific Finance Limited	金融 (香港)	100.0%	-3
Aozora Europe Limited	金融 (ロンドン)	100.0%	1
Aozora North America, Inc.	金融 (ニューヨーク)	100.0%	11
AZB Funding	SPC	100.0%	1
Aozora GMAC Investment Limited	投融資	100.0%	-0
Orient Commercial Joint Stock Bank	商業銀行 (ベトナム)	15.0%	17 ^{*3}

b 連結調整	19
--------	----

非支配株主に帰属する当期純損益 (GANB)	13
その他	5

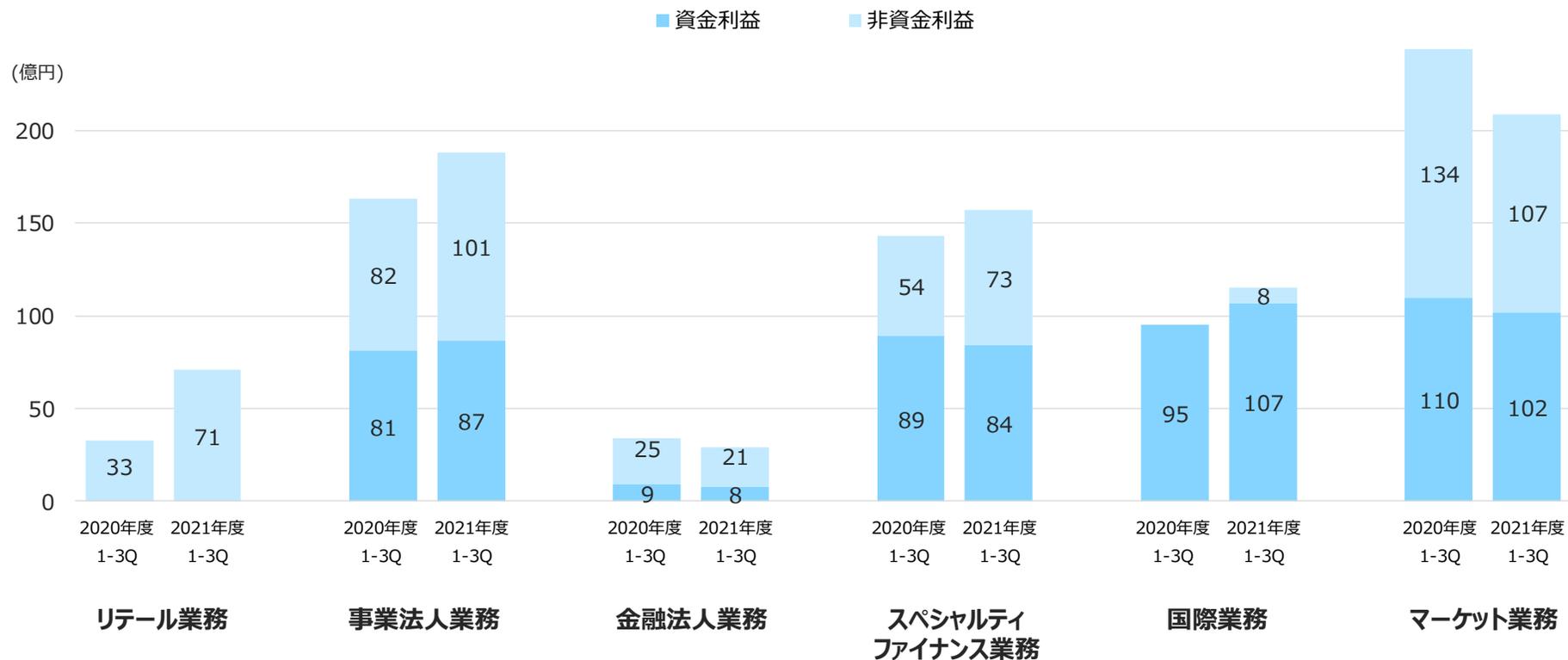
*1 親会社の損益に帰属する割合

*2 議決権所有割合は85.1%

*3 持分法損益の取込額

参考：業務別実績

業務別連結粗利益*



* 管理会計ベース、部門外利益は含まない

2021年度より業務別損益の算定方法を変更。前年度1-3Qの業務別損益についても、変更後の算定方式に基づき作成

< ご連絡先 >

株式会社 あおぞら銀行

コーポレートコミュニケーション部

電話: 03-6752-1218

FAX: 03-6752-1434

URL: <https://www.aozorabank.co.jp>

梶谷: h.kajitani@aozorabank.co.jp

松浦: m.matsuura@aozorabank.co.jp

松本: j.matsumoto@aozorabank.co.jp

安達: y2.adachi@aozorabank.co.jp

園田: k1.sonoda@aozorabank.co.jp

当資料には、当行の財務状況や業績など将来の見通しに関する事項が含まれています。こうした事項には当行における将来予想や前提が含まれており、一定のリスクや不確実性が生じる場合があります。具体的には、経済情勢の変化や金利・株式相場・外国為替相場の変動、およびそれらに伴う保有有価証券の価格下落、与信関連費用の増加、事務・法務その他リスクの管理規則の有用性などにより、実際の結果とは必ずしも一致するものではありません